

甘楽町・チェルタルド市 姉妹都市交流 40 周年記念 vol.7

絆を紡いで40年 永続的な友好交流を再確認

■ 問い合わせ 企画課企画調整係 ☎74-3133



友好の証のプレートが市長から町長の手へ



確認書に調印



交流事業発展に貢献したチェルタルド市と同市国際文化交流推進協会に感謝状を授与

**チェルタルド市使節団が
記念行事に合わせ来町**

イタリア・チェルタルド市のジョーコモ・クチーニ市長を団長とした第14次使節団10人が11月1日から4日にかけて来町しました。使節団はさまざまな記念行事に参加したほか、中学生と交流する機会も設けられ、短い時間でしたが甘楽町の旅を記憶に残してくれたに違いありません。

**姉妹都市協定締結40周年記念
記念式典**

姉妹都市協定締結40周年記念式典が11月3日、町文化会館で開催され、長年の交流の歩みを振り返るとともに、両市町の友好交流関係をより強固な結びつきとするため、茂原町長とクチーニ市長が確認書に調印しました。



記念式典で友好交流推進を再確認した両市町の関係者

絵画展

2人展

40周年を記念して、

町とチェルタルド市にゆかりのある2人による絵画展が11月3日から26日まで長岡今朝吉記念ギャラリーで開催されました。

「かんらふるさと大使」でもある柳沢正人さんは、チェルタルド市を拠点に活動していた時期があり、イタリアの町並みなどを数多く描いています。またファビオ・カルヴェッティさんはチェルタルド市出身・在住で世界各国で個展を開催するなど活躍しています。

2人は古くからの友人で、2人の絵画が40周年記念に華を添えてくれました。



除幕式

記念碑・モニュメント

昭和58年に友好親善姉妹都市協定が結ばれました。町中学生国際交流研修団、チェルタルド市青年使節団など人的交流をはじめ、文化芸術の交流も重ねてきました。

今回、今までの絆を再確認し永続的な交流を示す思いを刻んだ碑と、歴代の町中学生使節団員の名が刻まれたモニュメントが製作されました。

11月2日、甘楽中学校で除幕式が行われ、交流の積極的な展開を誓い合いました。



除幕式後には、チェ市使節団と甘楽中生が一緒に給食を食べ、交流を深めました。



記念碑の完成を喜びクチーニ市長(右)とオルシ市議会議員

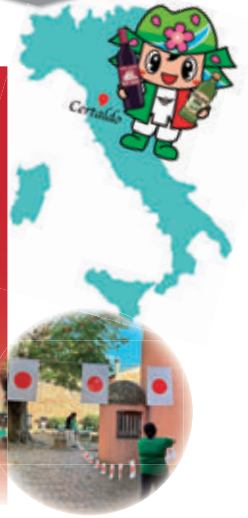


モニュメントの除幕をした生徒代表



オリーブの木の記念植樹





町の魅力を伝える

食を通じた交流

チェルタルド市で10月13日～15日に食の祭典「ボッカチェスカ」が開催されました。

この祭典に参加するため町の使節団6人(甘楽町都市農村交流協会職員や町職員など)が、10月9日から18日までの10日間、イタリアへ派遣されました。

町が「ボッカチェスカ」へ参加するのは7年ぶり3度目です。チェルタルド市は甘楽町のほか国内外の複数都市と友好交流をしており、



「食の祭典」の中心ボッカチ才通り



大勢の人でにぎわう町のブース

今回の「ボッカチェスカ」では友好都市コーナーが旧市街地チェルト・アルトに設置され、それぞれの地域の「食」を紹介しました。甘楽町のブースでは、ナスやインゲンなどの「天ぷら」と「水ぎょうざ」、地酒「城下町小幡」を提供することで食を通じた町の魅力をPRしました。

普段食べ慣れない日本食を多くの来場者に興味を持ってもらうことができ「おいしい」との声が聞かれました。そして、開催期間中、毎日訪れる人の姿もありました。



日本の味を提供した使節団と現地関係者

使節団は、慣れない環境下での調理にも関わらず、心のこもったおもてなしをしてチェルタルド市の皆さんの心をつかみました。今回の参加は、町のイタリア駐在事務所の新葉美代子さんとチェルタルド市国際文化交流推進協会に尽力いただき、多くの皆さんの情熱と協力により大きな成果をあげることができました。

この交流を通じて、また一つ両市町の絆が固く結びつきました。

100号
達成記念

イタリア海外駐在員だより

町とチェルタルド市の架け橋として活躍している町のイタリア駐在事務所の稲葉美代子さんは、2015年6月に着任しました。稲葉さんは就任当初から、町のホームページ「海外駐在員だより」でイタリアの文化やチェルタルド市の日常を届けています。

その駐在員だよりが、友好交流40周年の節目の年に記念すべき100号を達成し、記念の1冊にまとまりました。記念誌は、ら・ら・かんらや役場ロビーで閲覧できます。◆問い合わせ 産業課商工観光係 ☎64-8320

